

第 28 回国連地名専門家グループ会合報告 Report on the 28th United Nations Group of Experts of Geographical Names

基本図情報部 中村孝之・笹川啓¹・水越博子
National Mapping Department Takayuki NAKAMURA, Akira SASAGAWA,
and Hiroko MIZUKOSHI

要旨

2014 年 4 月 28 日から 5 月 2 日まで、米国ニューヨークの国連本部において、第 28 回国連地名専門家グループ会合が開催された。会合には、世界各国から地名を取り扱う国の機関、大学等の専門家らが参加し、各ワーキンググループ、各地域/言語部会、各国からのレポートを元に議論が進められた。国土地理院から本会合に参加したので、その概要を報告する。

1. 国連における地名標準化の全体の枠組み

第 28 回国連地名専門家グループ会合の報告に先立ち、まず、国連地名標準化会議も含めて国連における地名標準化の全体の枠組みを紹介する。

1.1 国連地名標準化会議

国連地名標準化会議は、地名の国内標準化及び国際標準化の促進を目的として、国内標準化された地名に関する情報の国際的な普及促進、非ローマ字表記をローマ字表記へ変換する単一方式の承認などを行う会議である。国連地名標準化会議や国連地名専門家グループ会合(1.3 に示す)は、国内標準化や表記方法に関する技術的課題に関する情報交換や議論の場であって、個別の地名の審議や決定は行われない。

会議では、各国や国連地名専門家グループのワーキンググループ(以下、「WG」)(1.2 に示す)などによる報告やそれを元にした議論が行われ、最終的に各国への勧告等の決議が行われる。

会議は 1967 年に第 1 回会議がスイス・ジュネーブにおいて開催され、以降、5 年に一度開催されている。直近では、2012 年に第 10 回会議が米国・ニューヨークで開催された(第 9 回会議は南ほか(2008)、第 10 回会議は金子ほか(2013)に詳しい)。次の開催は 2017 年の予定である。

1.2 国連地名専門家グループ

国連地名標準化会議の事務的な取りまとめは国連経済社会理事会が行っているが、会議の実質的な議論の進行及び実際の活動は、国連地名専門家グループ(United Nations Group of Experts on Geographical

Names: UNGEGN)が行っている。UNGEKN は、1959 年の経済社会理事会決議 715A (XXVII) に基づき設置された経済社会理事会の専門機関の一つである。UNGEKN の下に 24 の地域・言語部会と課題別に 10 の WG (表 1)、2 つのタスクチーム(アフリカタスクチーム、地図編集者等における国際使用のための地名ガイドラインタスクチーム)が設置され、各国の地名専門家が具体的な課題の検討を行っている。地域・言語部会では、日本は韓国及び北朝鮮とともに「アジア東(中国を除く)部会」(韓国が暫定部会長)に属している。

表 1 UNGEGN の課題別 WG

WG の名称	現在の主な活動内容
国名	国名リスト案の作成管理
地名データファイル及び地名集	地名データ処理(地名集を含む)並びに地名データ交換フォーマット及び標準化に関する活動
地名専門用語	地名専門用語集の更新
広報及び資金調達	広報、ウェブサイトの維持管理
ローマ字表記方式	非ローマ字言語国による地名のローマ字表記方式を審議
地名研修コース	地名研修コースの管理、国際研修コースの計画及び講師派遣補助
評価及び実施	UNGEKN の機能・効率性及び決議実施の評価及び提案
エクソニム	エクソニム使用のガイドライン作成の検討
発音	各国の発音ガイド作成の内容、実行可能性の検討
文化遺産としての地名	先住民族・少数民族の地名の使用推奨の報告書の維持更新、これらの地名の現地収集ガイドラインの編集

現所属：¹ 応用地理部

1.3 国連地名専門家グループ会合

国連地名専門家グループ会合は、5年に一度の国連地名標準化会議を補完するものとして、同会議開催時、2年後、4年後に開催される。国連地名標準化会議と同様に各国やWGなどによる報告や質疑応答により進行するが、各国への勧告等の決議は行われない（最近の第26回会議は金子（2012）、第27回会議は金子ほか（2013）に詳しい）。

1.4 これまでの主な成果

これまでの国連地名標準化会議による各国への勧告等の決議やそれを元にした UNGEGN 等の活動のうち主なものは次の通りである。

（各国への勧告等の決議）

- ・国家地名機関の設置の勧告
- ・地名集、地名ガイドラインの作成の勧告
- ・エクソニムの削減の勧告
- ・各国提案の地名のローマ字表記の単一方式の承認（活動）
- ・国名リストの作成
- ・世界の国名・主要都市名データベースの作成
- ・地名専門用語集の作成
- ・途上国への地名標準化の援助、教育や研修を実施
- ・地名標準化手法をマニュアルにまとめ、配布等

なお、エクソニムは外来地名、エンドニムは内生地名と呼ばれる。UNGEGN の地名専門用語 WG による用語集の定義（仮訳）は以下の通りである。

エンドニム：地物が位置する地域の公用語又はよく定着している言語による地物名。

エクソニム：ある特定言語による、その言語が話される地域の外に位置している地物の名称であり、その地物が位置する地域の公用語又はよく定着している言語による名称とは形式が異なるもの。

例えば、インドの Mumbai(ムンバイ)はエンドニム、Bombay(ボンベイ)はエクソニムである。

2. 第28回国連地名専門家グループ会合について

本章では、同会合の概要を報告する。

なお、第28回会合の公式な報告書は UNGEGN のウェブサイト(<http://unstats.un.org/unsd/geoinfo/UNGEGN/ungegnSession28.html>) で公表されている。同報告書の仮訳を参考として本稿の末尾に添付する。

2.1 開催概要

会合は、平成26年4月28日（月）から5月2日

（金）まで、米国・ニューヨークの国連本部にて開催された。会合には、53の国連加盟国と国際機関等から174名の参加があった。日本からは、国土地理院基本図情報部中村孝之国土基盤情報調整官及び笹川啓地名情報課長補佐が参加したほか、国連日本政府代表部から関係職員が参加した。



写真-1 会合の様子

2.2 レポートの発表

今次会合では、各国、地域・言語部会、WG等から80本強のレポートが提出された。これらはすべて UNGEGN のウェブサイトで見ることができる。

2.2.1 国土地理院の発表

議題9「地名データファイルと地名集WGに関する活動」の中で、中村国土基盤情報調整官より、電子国土基本図（地名情報）の整備・提供状況や地理院地図を通じた地名情報の活用方法について述べたレポート「電子国土基本図（地名情報）の整備と提供」を発表した。ドイツ、サウジアラビア、インドネシア、ボツワナの4カ国から、電子国土基本図（地名情報）の詳細（位置づけ、収録数、整備方法等）や「地理院地図」の技術支援に関して質問があり、それぞれ回答した。

2.2.2 その他の主な発表

(1) 国際地図年2015/16への支援要請

議題5「渉外担当役員及び国際機関報告」の中で、国際地図学会から、地図の普及啓発を目的として、2015年～2016年まで（メインは2015年8月にリオデジャネイロで開催の同学会の大会）、国際地図年（International Map Year）を企画しており、地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会（United Nations Committee of Experts on Global Geospatial Information Management）による支援をお願いしたいとする内容の報告があった。各国からイベント等に貢献したいとする声が多数あった。

(2) 韓国による地名法制定

議題7「評価及び実施WGに関する決議履行及び活動」の中で、韓国国土地理情報院から、地名法制定の動きの報告があった。この地名法には、地名標準化の原則、標準化手続き、国家レベルの地名管理計画の策定、地名管理方策（地名調査、地名集及びデータベース作成、研究開発等）、国家・地域・地方レベルの地名委員会の設立等が盛り込まれている。

(3) ドイツによるオープンデータに関する活動

議題9「地名データファイルと地名集WGに関する活動」の中で、ドイツにおけるオープンデータに関する活動報告があった。ドイツでは、政府の地理空間情報をオープンデータ化するため、地理データアクセス法(2008年制定)を2012年11月に改正し、2013年3月には商用/非商用を問わず無償で使用可能とする地理データ使用令を制定した。これにより、中小縮尺の地理空間情報の無償提供や地名集の無償ウェブサービスの取組が進んでいる。

(4) カナダによる「地名の日」制定の提案

議題13「広報及び資金調達WGに関する活動」の中で、カナダから、国連地名標準化会議が2017年開催予定の第11回会議で第1回会議から50周年となることを契機に、UNGEGNの使命及びその政府や一般への便益を毎年思い出すために、「国際（世界）地名の日」(International, or World, Geographical Names Day)の制定を第11回会議で決議しようという提案があった。各国から多数の賛同の声が上がった。

(5) 日本海呼称

議題18「その他の地名に関する問題」の中で、韓国から「国際海洋セミナー2013」について報告があり、日本代表団と韓国代表団による日本海呼称問題に関する意見の応酬があった。

2.3 北アフリカ地域部会設立の提案

アフリカ大陸に関しては、今次会合時点で4つの地域部会（アフリカ中央部会、アフリカ東部会、アフリカ南部会、アフリカ西部会）が設置されている。北アフリカ地域の国はアラブ諸国部会のメンバーとなっている。アフリカ連合、国連アフリカ経済委員会等の地域分割との調和及び言語的な整合を図るため、アフリカ北部会の設立がアフリカタスクチームから提案され、北アフリカ地域の国や他のアフリカ

地域部会から賛同の声が上がった。設置に向けて関係者間で協議を行うこととされた。

2.4 国連地名専門家グループの手続き規約の改定

会合事務局より、同会合の手続き規則第37条について、「国連地名専門家グループの会合やWGを非公開で開催する」から「国連地名専門家グループの会合やWGは、他の定めが無い限りは公開で行われるものとする」と改定する提案があり、了承された。

2.5 エクソニムWGの会合

会期中、各WGで会合が行われた。エクソニムWGでも会合が行われた。

同WGでは近年エクソニム/エンドニムの新定義の検討を長く行っているが、定義の大きな変更による標準化会議の決議や各国の取組に影響を与えることへの懸念や、本来目的であるエクソニムを減らすための実践的な検討をすべきとの意見が多く示された。そのため、2014年6月にオーストリアで開催される同WGで新定義の合意がされなければ従来の定義のままとし、今後はエクソニムの利用基準の検討などを行うこととされた。この方針は、議題14「エクソニムWGに関する活動」でもWG座長のジョルダン氏（オーストリア）から報告された。

3. 次回会合

第29回UNGEGN会合は、タイのバンコクで2016年4月25日～29日に開催予定である。

謝辞

会合の対応において、外務省国際協力局専門機関室並びに国連日本政府代表部に支援を頂きました。感謝申し上げます。

第28回国連専門家グループ会合の作業に関する報告（仮訳）

※以下は、国連経済社会理事会の文書番号E/2014/78の“Report of the United Nations Group of Experts on Geographical Names on the work of its twenty-eighth session”（原文英語）を仮訳したものである。

第28回国連専門家グループ会合の作業に関する報告 (ニューヨーク, 2014年4月28日-5月2日)

要約

第28回国連地名専門家グループ会合は、経済社会理事会決議2013/257に従い、2014年4月28日から5月2日まで国連本部で開催された。

本報告書は、同会合の活動について記載し、国連地名標準化会議をサポートする上での専門家グループの作業及び同グループが地理情報分野や関連する地図作成領域で加盟国に提供を続けている本質的支援の重要性に主として焦点を合わせながら、専門家グループの主な研究成果を提示する。

I. 経済社会理事会による議決を必要とする問題又は同理事会が注目する問題

A. 理事会による採択を得るべき決定案

1. 国連地名専門家グループは、経済社会理事会に対し、下記の決定案の採択を提言する。

決定案I

第28回国連地名専門家グループ会合報告、第29回国合期日、開催地、及び暫定議題²

経済社会理事会は

- (a)第28回国連地名専門家グループ会合報告に注目する (E/2014/78) .
- (b)第29回専門家グループ会合を2016年4月25日から29日までバンコクで開催することを決定する。
- (c)事務総長に対し、第29回国合において、必要な後方支援、公用語である6言語全てへの通訳、及び会合の成功を保証するために求められるその他の必須資源を含め、必要となる援助を専門家グループに提供するよう要請する。
- (d)第29回国合暫定議題を下記に示すとおり承認する。

第29回国連地名専門家グループ会合暫定議題

- 1.議題及び暫定作業プログラムの採択
- 2.議長報告
- 3.専門家グループ事務局報告
- 4.部会報告
- 5.渉外担当役員及び国際機関報告

- 6.アフリカタスクチームに関する活動
- 7.評価及び実施WG (ワーキンググループ) に関する決議履行及び活動
- 8.地名研修コースWGに関する活動
- 9.地名データファイル及び地名集WGに関する活動
- 10.地名用語WGに関する活動
- 11.ローマ字表記システムWGに関する活動
- 12.国名WGに関する活動
- 13.広報及び資金調達WGに関する活動
- 14.エクソニムWGに関する活動
- 15.発音WGに関する活動
- 16.文化遺産としての地名WGに関する活動
- 17.地図編集者及び国際的使用を目的とする他の編集者のための地名ガイドライン
- 18.その他の地名に関する問題
- 19.第11回国連地名標準化会議の準備
- 20.国連地名専門家グループ規則再検討
- 21.第30回国連地名専門家グループ会合期日、開催地、及び暫定議題
- 22.報告書採択

決定案II

国連地名専門家グループ手続き規則修正

経済社会理事会は、国連地名専門家グループが提案した同グループ手続き規則修正³を承認し、それにより、規則37は以下の文章と置き換えられる。

「XII.公開ミーティング

規則37

専門家グループのミーティング及び同WGのミーティングは、他に定めない限り公開で行われるものとする。」

B. 理事会が注目する決定

2. 理事会は、専門家グループが採択した下記の決定に注目する。

28/101

議長報告

専門家グループは議長報告に注目した。

28/102

専門家グループ事務局報告

専門家グループは事務局報告に注目した。

² プログラム予算の推測については、第 60 段落を参照。

³ 下記の第 61 段落を参照。

28/103

部会報告

専門家グループは

- (a) 専門家グループの地理／言語部会24のうち17部会が提出した報告に注目し、卓越した報告要約に対して感謝の意を表した。
- (b) 部会報告は地名標準化の分野における少なからぬ進展を反映したものであり、目覚ましい業績を報告した部会もあれば、課題を報告した部会もあり、政治・経済問題が未だに成功の妨げとなっている部会もあることを強調した。
- (c) 専門家達に対し、17の部会報告で示された経験から学ぶよう奨励した。
- (d) 部会報告は、その構造、長さ、及び内容に大きな違いがあり、ミーティング、ウェブサイト、その他の合同プロジェクト等、多様な部会活動について報告した部会もあれば、国ベースの情報に集中した部会もあることに留意した。
- (e) 報告におけるばらつきは、各部会が様々な課題や資源の制約に直面しているという事実を反映していることを認めた。
- (f) 将来の会合に向けての部会報告用テンプレートの開発及び使用について考察し、かかるテンプレートの使用は任意とすべきことを認めた。

28/104

渉外担当役員及び国際機関報告

専門家グループは

- (a) 渉外担当役員4名及び国際機関が作成した書面報告4件、及び口頭報告1件に注目した。
- (b) 渉外担当役員全てから報告を受けたわけではないことに留意した。
- (c) 専門家グループとこれらパートナーとの関係の維持が重要であることを認識した。
- (d) 国際地図年等、将来のイベントの協力及び共同参加を強く推進することに合意した。

28/105

アフリカタスクチームの報告

専門家グループは

- (a) アフリカタスクチームのコーディネーターからの報告を歓迎した。
- (b) 複雑な状況下にあるアフリカでは、専門家グループの目的達成を支援しようとする一致団結した取り組みが求められていることを認識した。
- (c) アフリカタスクチームに対して地名の重要性についての意識を高めるための努力を維持す

るよう促し、アフリカ諸国に対して各国の作業プログラムをタスクチームの報告に示されているとおりに継続するよう奨励した。

28/106

評価及び実施WGに関する決議履行及び活動

専門家グループは

- (a) 本議題項目に基づき提示された報告に注目した。
- (b) 国の地名標準化プログラムに関する決議の履行を促進し、その目標に向かって専門家グループの活動効率を高めようというWGの取り組みを歓迎した。
- (c) 会合・会議評価調査の準備及び分析、作業報告書の編集及び保管、さらには国連地名標準化会議決議データベースの作成及び保守を含め、WGが重要な作業プログラムを行っていることに対して感謝の意を表した。
- (d) また、文書ガイドライン使用を通じて決議を参照するよう専門家達を促す上でのWGの関与に対して謝意を表した。
- (e) 法律制定、地名委員会、及び学術団体に関して各国が遂げた進展のみならず、制度的枠組みの実施に向けての課題にも留意した。
- (f) アフリカ北部会創設の提案を認識し、関係者に対して第29回会合での創設見込みに先立ち互いに協議するよう促した。

28/107

地名研修コースWGに関する活動

専門家グループは

- (a) 本議題項目に基づき提示された報告に注目した。
- (b) これまで行ってきた価値ある作業に対してWGに感謝した。
- (c) WGの主要な活動は、将来の地名活動に携わる優秀なスタッフの確保であることを強調した。
- (d) 事務局経済社会局統計部から受けた過去の研修コースに対する支援に感謝の意を表し、今後の研修活動についても統計部に支援を要請した。
- (e) また、中南米の地名コース組織においてパートナーの役割を果たしている汎米地理歴史研究所の地図作成WGとの協力に対しても謝意を表した。
- (f) 地形学者や地図作成者が果たす地名学的任務の特徴は、名称の収集・処理からデータベースやウェブサービスの保守管理へと進化してい

ること、そしてデータの流通を維持するためにはクラウドソーシング技術を通じての一般大衆の協力がますます必要になることに留意し、その意味で、地名に関しての活動をさらに拡大していくよう奨励した。

28/108

地名データファイル及び地名集WGに関する活動
専門家グループは

- (a)本議題項目に基づき提示された報告及び口頭発表に注目した。
- (b)報告数の多さが示す担当領域への関心の高さに対して、地名データファイル及び地名集WGに謝意を表した。
- (c)報告の大多数は国内活動を取り上げたものであること、また2件の報告では多国間活動が扱われており、そのいずれにおいても地名情報を保存、視覚化し、普及させるための機構開発の重要性が示されていることに留意した。
- (d)多様な目的のために地名情報を提供する地名データベース、サービス、及びアプリケーションの多機能使用又は多重使用を確立することに焦点を合わせるといふ活動傾向を確認した。
- (e)数件の報告では、インターネットを通じて地名データを自由に利用できるようにするという、心強い傾向が反映されていることに留意した。
- (f)フィーチャ・データへのリンクにおける地理情報システム及びウェブGISの使用について認識した。
- (g)地名データの空間データ基盤への統合を可能にしようという取り組みの高まり、そして自発的に提供された地理情報やクラウドソーシングされたデータを活用することの重要性の高まりを認めた。
- (h)前述の非常に前向きな傾向は、地名を国及び地域の空間データ基盤にさらに上手く組み込むことを提言した第8回国連地名標準化会議の決議VIII/6に完全に合致したものであること、また信頼できる標準化された地名を確立・提供することの重要性は、地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門委員会が、地理空間情報管理の本質的部分として認識してきたことに留意した。
- (i)16件の国連決議が地名集又は自動データ処理／デジタルデータのいずれかを扱ったものであることに注目した。
- (j)WGに、同グループの行っている重要な作業、

特にウェブ・ディスカッションフォーラムの見直し作業を継続するよう促した。

- (k)各国／各部会が提供しているように、WGが実例、最良実践、及び一般共有問題を収集し、専門家グループのウェブサイトで公開することを提言した。
- (l)前述のような問題を広報及び資金調達WGに送り、専門家グループ事務局と協力して検討することに合意した。

28/109

地名用語WGに関する活動

専門家グループは

- (a)本議題項目に基づき提示された報告に注目した。
- (b)地名用語WGの活動に対して、同グループに感謝した。
- (c)WGに対し、同グループの重要な作業、特に現在開発中の用語データベースにかかわる作業を通して専門家グループのデジタル及びオンライン・プレゼンスを進める作業を継続するよう促した。
- (d)WGに対し、2015年のミーティングで開始する地名標準化用語集（Glossary of the Terms for the Standardization of Geographical Names）の改訂に着手するよう奨励した。
- (e)地名標準化用語集を紙形式からデジタル形式へ移行する作業への支援を表明した。

28/110

ローマ字表記システムWGに関する活動

専門家グループは

- (a)本議題項目に基づき提示された報告に注目した。
- (b)ローマ字以外の言語を用いる国々の中で、国連が承認した地名ローマ字表記システムを採用する国々が増加していることを、満足をもって認めた。
- (c)前述の国々が承認されたシステムを実施国においても国際レベルにおいても実行するために講じている措置に対して謝意を表した。
- (d)可能であれば、いかなる提案システムにおいても可逆性を重視することを強調した。
- (e)ローマ字以外の言語を用いる国々のうち未だに国連が承認したシステムを採用していない国々に対し、次回の国連地名標準化会議で承認を受けられるように、各国のローマ字表記システムを考案、実施、及び提出するよう促し

た。

- (f)国連が承認したシステムが変更されている、又はもはや実施されていない国々に対し、新たなシステムを提出して検討の上で承認を受けよう要請した。
- (g)ローマ字表記システムのみならずWGの活動に関する情報も、定期的に更新されるWGのウェブサイトでも参照できることに留意した。
- (h)WGと、ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers) やISO技術委員会46のWG3のような、同様のテーマを扱う国際的組織との間の連絡を継続することを支持した。
- (i)WGに対し、ローマ字表記に関連する問題について国内当局と連絡をとり、世界中でのローマ字表記の状況をモニターする取り組みを継続するよう促した。

28/111

国名WGに関する活動

専門家委員会は

- (a)WGの報告、及び非公式の「作業中バージョン」の国名リストに注目した。
- (b)新バージョンの専門家グループ国名リストの精査及び修正への貢献に対して、WGのメンバー、国連の用語チーム、及びその他の専門家達を称えた。
- (c)WGが現在行っている国名リストの維持・改良作業に対して、同グループに感謝した。

28/112

広報及び資金調達WGに関する活動

専門家委員会は

- (a)本議題項目に基づき提出された報告書に注目した。
- (b)最近及び今後の活動に対して、広報及び資金調達WGに感謝した。
- (c)WGに対し、特に最新のメディア・キット、専門家グループのウェブサイト、及びウィキペディアにおけるプレゼンスを通して専門家グループのデジタル・プレゼンスを高めることについての同グループの卓越した作業、また研修参加や専門家グループ会合への出席に対する財政支援を確認しようとする同グループの取り組みの継続を奨励した。
- (d)専門家グループと地名標準化の重要性及び関連性に焦点を合わせることを目的として、2017年に国際地名デーを定めることを支持した。

- (e)同WGが本提言を推し進める責任を負うことに合意した。

28/113

エクソニムWGに関する活動

専門家グループは

- (a)本議題項目に基づき提出された報告に注目し、エンドニム/エクソニム区分の定義、及び新たな定義の作成に関して行われた非常に綿密な取り組みを称えた。
- (b)理論的アプローチと実践重視アプローチの間の緊張が原因で、新たな定義について合意する上で遭遇する困難に留意した。
- (c)2014年6月にオーストリア、ヘルマゴールでのミーティングで新たな定義についての合意に至るべく、WGに最後の試みを行わせることに合意した。
- (d)WGが今後はエクソニム使用規準の定義に重点的に取り組むことを支持した。
- (e)エンドニム/エクソニム区分について4巻に文書化することを歓迎した。これにより、将来再検討を行うことが可能となる。
- (f)新たな地名集が今回の会合で紹介されたことに留意しながら、非常に詳細なエクソニム地名集が継続的に出版されていることを称賛した。

28/114

発音WGに関する活動

専門家グループは

- (a)発音のばらつきによる影響を理解することの重要性に焦点を合わせたケース・スタディを示した報告に注目した。
- (b)継続的に活動を行っていることに対して、WGに感謝した。
- (c)発音WGの作業範囲は、文化遺産としての地名WG及びローマ字表記システムWGの作業に影響を及ぼす可能性があり、それらのWGからの参加や協力を要請するかもしれないことを認識した。
- (d)WGの新たな召集者であるTjeerd Tichelaar氏を歓迎した。

28/115

文化遺産としての地名WGに関する活動

専門家グループは

- (a)本議題項目に基づき提示された報告及び口頭発表に注目した。

- (b)現在行われている取り組みに対して、WGに感謝した。
- (c)文化的及び歴史的に意義のあるデータを利用できることの利点に留意した。
- (d)公式な命名と非公式な命名の対立、及び標準化への課題について、さらなる検討を行うよう奨励した。
- (e)要請に応じて、通りの命名等、慎重に行うべき命名状況の取り扱いについての最良の実践と経験を提供することを申し出た。
- (f)新たな共同召集者であるAnnete Torensjö氏及びLeif Nilsson氏を歓迎した。両氏は、6名の専門家から成る運営グループの支援を受けることになっている。

28/116

地図編集者及び国際的使用を目的とするその他の編集者のための地名ガイドライン

専門家グループは

- (a)本議題項目に基づき提示された報告に注目し、地名ガイドライン・インベントリが最近更新されたことを歓迎した。
- (b)残念ながら辞任せざるを得なくなった前コーディネーターに、この重要なプログラムを率いる上での尽力に対して感謝の意を表した。
- (c)未だに地名ガイドラインを作成していない加盟国が決議IV/4に従ってガイドライン作成を行うことを提言した。
- (d)地名ガイドラインを最新の状態にしておくために、加盟国が定期的にガイドラインの更新を行うことを提言した。
- (e)新たなコーディネーターであるGerhard Rampl氏を歓迎した。

28/117

その他の地名に関する問題

専門家グループは

- (a)本議題項目に基づき提示された報告に注目した。
- (b)国の標準化当局に対し、各々の重要な作業を継続し、特にデータ品質に関しての経験を今後の会合で共有するよう促した。
- (c)名称論及び関連研究に対する支援の減少やそれらの地位の低下がもたらす明白な課題に留意した。
- (d)地名研究の重要性を強調するために、次回会議に向けての決議準備を行うことを奨励した。

II. 専門家が検討を行う項目

A. 議長報告

- 3. 専門家グループは、議題項目2について2014年4月28日と5月2日に各々開かれた第1回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、文書GEGN/28/10に記載された議長報告を受領し、同報告は議長が発表を行った。

専門家グループが行った議決

- 4. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで報告者達が提出した決定案を採択した（セクションI.B.決定28/101を参照）。

B. 専門家グループ事務局報告

- 5. 専門家グループは、議題項目3について2014年4月28日と5月2日に各々開かれた第1回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、文書GEGN/28/11に記載された専門家グループ事務局報告を受領した。第1回ミーティングでは、専門家グループは事務局代表による予備的発表を聴いた。米国／カナダ部会の専門家が意見を述べた。

専門家グループが行った議決

- 6. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで、報告者達が提出した決定案を採択した（セクションI.B.決定28/102を参照）。

C. 部会報告

- 7. 議題項目4について、専門家グループは2014年4月28日と5月2日に各々開かれた第1回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、第1回ミーティングでは、発表用の作業報告書W.P.77/4、及び情報提供用の作業報告書W.P.3/4、W.P.9/4、W.P.18/4、W.P.24/4、W.P.32/4、W.P.36/4、W.P.37/4、W.P.58/4、W.P.59/4、W.P.62/4、W.P.63/4、W.P.65/4、W.P.66/4、W.P.69/4、W.P.70/4、W.P.74/4、及びW.P.75/4を受領した。
- 8. また第1回ミーティングでは、専門家グループは北欧部会の専門家がに行った概要発表を聴いた。議長と米国／カナダ部会、ローマ・ギリシャ部会、及びアラブ諸国部会の専門家がコメントや質問を行った。そして北欧部会の専門家が

項目4についての討議を要約した。

専門家グループが行った議決

9. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで報告者達が提出した決定案を、口頭で修正されたとおりに採択した（セクションI.B.決定28/103を参照）。

D. 渉外担当役員及び国際機関報告

10. 専門家グループは、議題項目5について2014年4月28日と5月2日に各々開かれた第2回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、第2回ミーティングでは、作業報告書W.P.6/5, W.P.34/5, W.P.72/5, 及びW.P.76/5を受領した。本項目に基づく情報提供のために、専門家グループは文書GEGN/28/7を事前に受領した。
11. 専門家グループは、4月28日の第2回ミーティングで国際水路機関、国際名称科学者会議、ICANN, 及び国際地図学協会の渉外担当役員による発表を聴いた。
12. 同ミーティングで、議長と北欧部会、アラブ諸国部会、オランダ語及びドイツ語圏部会、米国／カナダ部会、及びアフリカ南部会の専門家がコメントと質問を行い、議長が討議を要約した。

専門家グループが行った議決

13. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで報告者達が提出した決定案を採択した（セクションI.B.決定28/104を参照）。

E. アフリカタスクチームの報告

14. 専門家グループは、議題項目6について2014年4月28日と5月2日に各々開かれた第2回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち第2回ミーティングで、専門家グループは作業報告書W.P.29/6を受領した。同ミーティングで、専門家グループは、アフリカタスクチームのコーディネーターによる発表を聴いた。議長、コーディネーター、そしてアフリカ中央部会、アラブ諸国部会、及びアフリカ東部会の専門家がコメントや質問を行い、議長が項目6についての討議を要約した。

専門家グループが行った議決

15. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで、報告者達が提出した決定案を口頭で修正されたとおりに採択した（セクションI.B.決定28/105を参照）。

F. 評価及び実施WGに関する決議履行及び活動

16. 専門家グループは、議題項目7について2014年4月28日、29日、及び5月2日に各々開かれた第2回、第3回、及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、第2回ミーティングで、専門家グループは、発表用の作業報告書W.P.27/7, W.P.31/7, W.P.41/7, W.P.42/7, W.P.46/7, W.P.47/7, W.P.50/7, W.P.52/7, W.P.55/7, 及びW.P.71/7, また情報提供用に文書GEGN/28/8及びGEGN/28/9を受領した。
17. また専門家グループは、4月28日の第2回ミーティングでは評価及び実施WGの召集者による発表を聴いた。米国／カナダ部会、アジア東部会（中国を除く）、アラブ諸国部会、北欧部会、及びアフリカ西部会の専門家達も発表を行った。議長、召集者、またバルト諸国部会、米国／カナダ部会、北欧部会、アフリカ南部会、アラブ諸国部会、及びアフリカ中央部会の専門家達がコメントや質問を行い、発表者が回答した。
18. 専門家グループは、4月29日の第3回ミーティングではアラブ諸国部会、北欧部会、及びアジア東部会（中国以外）の専門家達による発表を聴いた。議長、召集者、またアラブ諸国部会、北欧部会、中国部会、及び米国／カナダ部会の専門家達がコメントと質問を行い、発表者が回答した。その後、召集者が項目7についての討議を要約した。

専門家グループが行った議決

19. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで、報告者達が提出した決定案を口頭で修正されたとおりに採択した（セクションI.B.決定28/106を参照）。

G. 地名研修コースWGに関する活動

20. 専門家グループは、議題項目8について、2014年4月29日及び5月2日に開かれた第3回、第4回、

及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、第3回ミーティングでは、作業報告書W.P.33/8, W.P.40/8, W.P.53/8, 及びW.P.67/8を受領した。

21. 同ミーティングで、専門家グループは、地名研修コースWGの召集者による発表を聴いた。召集者とアフリカ東部会、アフリカ中央部会、アフリカ南部会、アラブ諸国部会、北欧部会、米国／カナダ部会、及び東中央及び南東ヨーロッパ部会の専門家達がコメントと質問を行い、召集者が回答した。
22. 第4回ミーティングでは、アラブ諸国部会、アジア東部会（中国以外）、及び米国／カナダ部会の専門家達による発表を聴いた。議長、召集者、そして前述の部会の専門家達がコメントと質問を行い、発表者が回答した。その後、召集者が討議を要約した。

専門家グループが行った議決

23. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで報告者達が提出した決定案を採択した（セクションI.B.決定28/107を参照）。

H. 地名データファイル及び地名集WGに関する活動

24. 専門家グループは、議題項目9について2014年4月29日、30日、及び5月2日に各々開かれた第4回、第5回、及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、項目について考察するために、発表用の作業報告書W.P.1/9, W.P.5/9, W.P.7/9, W.P.12/9, W.P.15/9, W.P.16/9, W.P.19/9, W.P.20/9, W.P.21/9, W.P.22/9, W.P.45/9, W.P.48/9, W.P.49/9, W.P.54/9, W.P.56/9, 及びW.P.73/9, また情報提供用の作業報告書W.P.2/9及びW.P.79/9を受領した。
25. 第4回ミーティングでは、専門家グループは、地名データファイル及び地名集WGの召集者とアジア東部会（中国以外）、アジア南西部会（アラブ以外）、アラブ諸国部会、オランダ語及びドイツ語圏部会、及び北欧部会の専門家達による発表を聴いた。議長、召集者、そしてアラブ諸国部会、アジア南東部会、アフリカ南部会、米国／カナダ部会、北欧部会、ローマ／ギリシャ部会、及びフランス語圏部会の専門家達がコメントと質問を行い、発表者が回答

した。

26. 第5回ミーティングでは、アジア東部会（中国以外）、米国／カナダ部会、東中央及び南東ヨーロッパ部会、及び中南米部会の専門家達による発表を聴いた。召集者とアラブ諸国部会、アフリカ南部会、北欧部会、ローマ／ギリシャ部会、バルト諸国部会、及びオランダ語及びドイツ語圏部会の専門家達がコメントや質問を行い、発表者が回答した。その後、召集者が項目9についての討議を要約した。

専門家グループが行った議決

27. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで報告者達が提出した決定案を採択した（セクションI.B.決定28/108を参照）。

I. 地名用語WGに関する活動

28. 専門家グループは、議題項目10について、2014年4月30日及び5月2日に各々開かれた第5回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、同項目について考察するために、専門家グループは、発表用の作業報告書W.P.38/10及びW.P.44/10を受領した。
29. 第5回ミーティングでは、専門家グループは、地名用語WGの召集者と東中央及び南東ヨーロッパ部会の専門家による発表を聴いた。召集者とオランダ語及びドイツ語圏部会、アラブ諸国部会、及び北欧部会の専門家達がコメントと質問を行い、発表者が回答した。

専門家グループが行った議決

30. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで報告者達が提出した決定案を口頭で修正されたとおりに採択した（セクションI.B.決定28/109を参照）。

J. ローマ字表記システムWGに関する活動

31. 専門家グループは、議題項目11について2014年4月30日及び5月2日に開かれた第5回、第6回、及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、同項目について考察するために、発表用の作業報告書W.P.8/11及びW.P.4/11を受領した。
32. 第5回ミーティングでは、専門家グループはア

ジア南西部会（アラブを除く）の専門家による発表を聴き、召集者がコメントと質問を行って発表者が回答した。

33. 第6回ミーティングでは、専門家グループはWGの召集者による発表を聴いた。召集者と中国部会の専門家がコメントと質問を行い、発表者が回答した。その後、召集者が討議を要約した。

専門家グループが行った議決

34. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで報告者達が提出した決定案を口頭で修正されたとおりに採択した（セクションI.B.決定28/110を参照）。

K. 国名WGに関する活動

35. 専門家グループは、議題項目12について第6回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、発表用の作業報告書W.P.61/12、及び情報提供用の作業報告書W.P.60/12を受領した。
36. 第6回ミーティングでは、専門家グループは米国／カナダ部会の専門家による発表を聴き、その発表について東中央及び南東ヨーロッパ部会、及びローマ／ギリシャ部会の専門家達がコメントした。

専門家グループが行った議決

37. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで、報告者達が提出した決定案を採択した（セクションI.B.決定28/111を参照）。

L. 広報及び資金調達WGに関する活動

38. 専門家グループは、議題項目13について第6回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、発表用の作業報告書W.P.25/13、及び関連文書W.P.35/13を受領した。
39. 同ミーティングで、専門家グループは、広報及び資金調達WGの召集者とフランス語圏部会の専門家による発表を聴いた。召集者、議長、そしてアフリカ東部会、アラブ諸国部会、アジア東部会、アフリカ南部会、北欧部会、中国部会、オランダ語及びドイツ語圏部会、及び米国／カナダ部会の専門家達がコメントと質問を

行い、発表者が回答した。その後、召集者が討議を要約した。

専門家グループが行った議決

40. 報告者達が提出した決定案を5月2日の第8回ミーティングで採択した（セクションI.B.決定28/112を参照）。

M. エクソニムWGに関する活動

41. 専門家グループは、議題項目14について第6回、第7回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、発表用の作業報告書W.P.13/14、及び関連文書W.P.11/14、W.P.26/14、及びWP.64/14を受領した。
42. 第6回ミーティングでは、専門家グループはエクソニムWGの召集者による発表を聴いた。召集者と北欧部会及びアラブ諸国部会の専門家達がコメントや質問を行い、発表者が回答した。
43. 第7回ミーティングでは専門家グループは、北欧部会と東中央及び南東ヨーロッパ部会の代表による発表を聴いた。召集者がコメントと質問を行い、発表者が回答した。その後、召集者が討議を要約した。

専門家グループが行った議決

44. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで報告者達が提出した決定案を採択した（セクションI.B.決定28/113を参照）。

N. 発音WGに関する活動

45. 専門家グループは、議題項目15について第7回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、発表用の作業報告書W.P.10/15を受領した。
46. 第7回ミーティングでは、専門家グループは中国部会の専門家の発表を聴いた。議長とバルト諸国部会、アフリカ南部会、アラブ諸国部会、及び北欧部会の専門家達がコメントと質問を行い、発表者が回答した。その後、議長が討議を要約した。

専門家グループが行った議決

47. 5月2日の第8回ミーティングで、専門家グループ

ブは、報告者達が提出した決定案を口頭で修正されたとおりに採択した（セッションI.B.決定28/114を参照）。

O. 文化遺産としての地名WGに関する活動

48. 専門家グループは、議題項目16について第7回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、同項目に基づく発表用の作業報告書W.P.17/16及びW.P.68/16、また情報提供用の作業報告書W.P.57/16を受領した。
49. 第7回ミーティングでは、専門家グループは、オランダ語及びドイツ語圏部会、北欧部会、及びアジア南東部会の専門家達の発表を聴いた。米国／カナダ部会の専門家が意見を述べた。議長とローマ／ギリシャ部会、アジア東部会（中国以外）、バルト諸国部会、米国／カナダ部会、中国部会、アフリカ南部会、アジア南東部会、及びオランダ語及びドイツ語圏部会の専門家達がコメントと質問を行い、発表者が回答した。その後、議長が討議を要約した。

専門家グループが行った議決

50. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで、報告者達が提出した決定案を口頭で修正されたとおりに採択した（セッションI.B.決定28/115を参照）。

P. 地図編集者及び国際的使用を目的とする他の編集者のための地名ガイドライン

51. 専門家グループは、議題項目17について、第7回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、発表用の作業報告書W.P.14/17、W.P.23/17、W.P.28/17、及びW.P.78/17を受領した。
52. 第7回ミーティングでは、専門家グループは、オランダ語及びドイツ語圏部会、北欧部会、及びアフリカ東部会の専門家による発表を聴いた。同ミーティングでは、議長と米国／カナダ部会、及びオランダ語及びドイツ語圏部会の専門家がコメントや質問を行い、発表者が回答した。オランダ語及びドイツ語圏部会の専門家が、地名ガイドラインWGの次期召集者となることが発表された。その後、議長が討議を

要約した。

専門家グループが行った議決

53. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで報告者達が提出した決定案を採択した（セッションI.B.決定28/116を参照）。

Q. その他の地名に関する問題

54. 専門家グループは、議題項目18について第7回及び第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、発表用の作業報告書W.P.39/18、W.P.43/18、及びW.P.51/18を受領した。
55. 第7回ミーティングでは、専門家グループは、ポルトガル語圏部会、北欧部会、及びアジア東部会（中国を除く）の専門家達による発表を聴いた。議長と英国部会、アジア南東部会、北欧部会、アジア東部会（中国を除く）、及びアラブ諸国部会の専門家達、そしてグーグル株式会社の代表がコメントや質問を行い、発表者が回答した。その後、議長が討議を要約した。

専門家グループが行った議決

56. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで報告者達が提出した決定案を採択した（セッションI.B.決定28/117を参照）。

R. 第11回国連地名標準化会議の準備

57. 専門家グループは、議題項目19について、第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、情報提供のために、第10回会議で採択済みの文書GEGN/28/3に記載された第11回国連地名標準化会議暫定議題を受領した。議長は専門家グループの注意を文書に向けさせた。

S. 特別発表

58. 会合期間中に、専門家グループは下記の特別発表を聴いた。
- (a) 「位置の力：地理情報システムの傾向」—第3回ミーティングでESRI（Environmental Systems Research Institute）の代表が発表した。議長とアラブ諸国部会、アフリカ南部会、北欧部会、及びアフリカ中央部会の専門家達がコメントと質問を行い、発表者が回答した。

- (b) 「ノルウェーにおける地名収集・保存システムの更新」—第4回ミーティングで北欧部会の専門家が発表した。議長とアフリカ東部会、アフリカ南部会、北欧部会、アラブ諸国部会、ローマ／ギリシャ部会、及び米国／カナダ部会の専門家がコメントと質問を行い、発表者が回答した。
- (c) 「国連業務の活動のための地理空間情報」—第5回ミーティングで事務局フィールド支援局地函課の代表が発表した。議長とアラブ諸国部会、アフリカ南部会、アフリカ中央部会、フランス語圏部会、ローマ／ギリシャ部会、北欧部会、及び英国部会の専門家がコメントと質問を行い、発表者が回答した。
- (d) 「国連地球規模の地理空間情報管理の範囲内の地名の関連性と位置付け」—第6回ミーティングで経済社会局統計部の代表が発表した。議長と米国／カナダ部会、オランダ語及びドイツ語圏部会、北欧部会、アラブ諸国部会、アフリカ中央部会、及び東中央及び南東ヨーロッパ部会の専門家がコメントと質問を行い、発表者が回答した。
- (e) 「地理空間情報と統計情報の統合」—第7回ミーティングで経済社会局統計部の代表が発表した。議長とアラブ諸国部会、オランダ語及びドイツ語圏部会、アジア東部会（中国以外）、アジア南東部会、アフリカ南部会、及び国際地図学協会の専門家がコメントと質問を行い、発表者が回答した。
- (f) 「国連における専門用語」—第8回ミーティングで、総会・会議管理局の用語・参考資料課（Terminology and Reference Section）の代表が発表した。議長とオランダ語及びドイツ語圏部会、中国部会、米国／カナダ部会、及びアラブ諸国部会の専門家がコメントと質問を行い、発表者が回答した。

III. 第29回会合暫定議題、開催地、及び期日

59. 専門家グループは、議題項目20について第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、「第28回国連地名専門家グループ会合報告、及び第29回会合期日、開催地、及び暫定議題」（GEGN/28/L.1）、及び「地名専門家グループ手続き規則修正」（GEGN/28/L.2）という表題の決定案を受領した。
60. 同ミーティングでローマ／ギリシャ部会の専

門家がコメントや質問を行い、経済社会局統計部の部長代理（Acting Director）が意見を述べた。所轄秘書官（Secretary）が、決定案 GEGN/28/L.1 のプログラム予算推測に関して、事務総長代理として声明を読み上げた。

専門家グループが行った議決

61. 専門家グループは、2014年5月2日の第8回ミーティングで決定案 GEGN/28/L.1 及び GEGN/28/L.2 を採択した（セクションI.A.を参照）。

IV. 報告書採択

62. 専門家グループは、議題項目21について第8回ミーティングで検討した。それに先立ち、第28回会合報告案（GEGN/28/L.3）を、同会合結論案、提言案、及び決定案を記載した非公式書類と共に受領した。そのいずれも、報告者達が作成したものである。
63. 同ミーティングで、議長、報告者、そして米国／カナダ部会、アジア東部会（中国以外）、アジア南東部会、東中央及び南東ヨーロッパ部会、バルト諸国部会、英国部会、ローマ／ギリシャ部会、オランダ語及びドイツ語圏部会、及びアフリカ東部会の専門家が、報告案と非公式書類に対してどのような修正を加えるべきかに関して意見を述べた。

専門家グループが行った議決

64. 専門家グループは、5月2日の第8回ミーティングで、第28回会合報告案を口頭で修正されたとおりに、非公式文書に記載された結論案、提言案、及び決定案と併せて採択し、ミーティング議事録を反映させて報告の最終仕上げを報告者達に委任した。

V. 会合組織

A. 会合開会及び期間

65. 経済社会理事会決議2013/257に従い、国連地名専門家グループは、同グループ第28回会合を2014年4月28日から5月2日まで国連本部において開催した。専門家グループは8回のミーティングを開き、それらのミーティングでは、Bill Watt（オーストラリア）議長が欠席してい

たため、Ferjan Ormeling (オランダ) 副議長と Naima Fria (チュニジア) 副議長が議長を務めた。

B. 出席者

66. 会合には、専門家グループの地理/言語部会を代表して、174名の参加者が出席した(本報告付属文書を参照)。参加者リストは文書 GEGN/28/4に記載されている。

C. 会合役員

67. 会合役員は下記のとおりであった。

議長：

Bill Watt (オーストラリア)

副議長：

Ferjan Ormeling (オランダ)

Naima Fria (チュニジア)

報告者：

Peder Gammeltof (デンマーク)

Trent Palmer (米国)

各部会議長の氏名については、<http://unstats.un.org/unsd/geoinfo/ungegn/divisions.html>を参照。WG役員は下記のとおりであった。

アフリカタスクチーム

召集者：

Brahim Atoui

地名研修コースWG

召集者：

Ferjan Ormeling

地名データファイル及び地名集WG

召集者：

Pier-Giorgio Zaccheddu

地名用語WG

召集者：

Staffan Nyström

ローマ字表記システムWG

召集者：

Peeter Päll

国名WG

召集者：

Leo Dillon

広報及び資金調達WG

召集者：

Peder Gammeltof

評価及び実施WG

召集者：

Sunjae Choo

エクソニムWG

召集者：

Peter Jordan

発音WG

召集者：

Gehard Rampl⁴

文化遺産としての地名WG

召集者：

Annette Torensjö

Leif Nilsson

D. オープニングスピーチ

68. Bill Watt (オーストラリア) 議長の代理として、Ferjan Ormeling (オランダ) 副議長が、第28回専門家グループ会合を、2014年4月28日の第1回ミーティングにおいて開会した。

69. オープニングスピーチの中で、議長は、専門家グループの作業強化を図るために最新の技術を最大限に活用することを含め、今後果たすべき主要な課題を要約した。

70. 経済社会局統計部のStefan Schweinfest部長代理が、専門家グループの最近の業績と主要部分を要約するオープニングスピーチを行った。

E. 議題採択

71. また、第1回ミーティングで、専門家グループは、暫定議題(GEGN/28/1)を口頭で修正されたとおり、下記のように採択した。

1. 議題及び暫定作業プログラムの採択
2. 議長報告
3. 専門家グループ事務局報告
4. 部会報告
5. 渉外担当役員及び国際機関報告
6. アフリカタスクチームに関する活動
7. 評価及び実施WGに関する決議履行及び活動
8. 地名研修コースWGに関する活動
9. 地名データファイル及び地名集WGに関する活動

⁴ 2014年5月1日の第7回会合で選出。

- 10.地名用語WGに関する活動
- 11.ローマ字表記システムWGに関する活動
- 12.国名WGに関する活動
- 13.広報及び資金調達WGに関する活動
- 14.エクソニムWGに関する活動
- 15.発音WGに関する活動
- 16.文化遺産としての地名WGに関する活動
- 17.地図編集者及び国際的使用を目的とする
他の編集者のための地名ガイドライン
- 18.その他の地名に関する問題
- 19.第11回国連地名標準化会議の準備
- 20.第29回国連地名専門家グループ会合期
日、開催地、及び暫定議題
- 21.報告書採択

付属文書

- 参加部会リスト
- アフリカ中央部会
- アフリカ東部会
- アフリカ南部会
- アフリカ西部会
- アラブ諸国部会
- アジア東部会（中国を除く）
- アジア南東部会
- アジア南西部会（アラブを除く）
- バルト諸国部会
- ケルト部会
- 中国部会
- オランダ語及びドイツ語圏部会
- 東中央及び南東ヨーロッパ部会
- 東ヨーロッパ、北及び中央アジア部会
- 東地中海部会（アラブを除く）
- フランス語圏部会
- 中南米部会
- 北欧部会
- 太平洋南西部会
- ポルトガル語圏部会
- ローマ／ギリシャ部会
- 英国部会
- 米国／カナダ部会

72. また、第1回ミーティングで、専門家グループは、同グループ作業組織を採択した（GEGN/28/12）。

F. 文書

73. 第28回会合で専門家グループに提出された文書は、統計部のウェブサイト <http://unstats.un.org/unsd/geoinfo/ungegnSession28.html>、及び Paper Smart Portal の <http://papersmart.unmeeting.org/en/ecosoc/ungegn/twenty-eighth-session/agenda/> で参照することができる。

（公開日：平成27年12月28日）

参考文献

- 南秀和，稲葉和雄（2008）：第9回国連地名標準化会議報告，国土地理院時報，115，27-38.
 金子純一（2012）：第26回国連地名専門家グループ会合報告，国土地理院時報，123，49-59.
 金子純一，笹川啓（2013）第10回国連地名標準化会議報告，国土地理院時報，123，129-141.
 United Nations (2014): E/2014/78 Report of the United Nations Group of Experts on Geographical Names on the work of its twenty-eighth session
 国連地名専門家グループのホームページ：<http://unstats.un.org/unsd/geoinfo/UNGEGN/>